

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2020年3月)

1 ポイント

【内政】

●1日, 大統領就任式が行われ, ラカジェ・ポウ新大統領, アルヒモン新副大統領が就任した。

【外交】

●2日, ラカジェ・ポウ大統領は河村建夫特派大使(日・ウルグアイ友好親善議員連盟会長), 李幹傑中国生態環境部部長, ハーミド・バングラデシュ大統領とそれぞれ会談した。

●10日, タルビ外相は, ウルグアイは南米諸国連合(Unasur)から脱退し, 米州相互援助条約(TIAR)に復帰する旨発表。

●13日, 外務省はウルグアイがテレスール(Telesur)及び南米銀行(Banco del Sur)から正式に脱退する旨発表。

【新型コロナウイルス】

●13日, 国家衛生緊急事態を宣言。

●17日, 国家衛生緊急事態を宣言する政令に署名。アルゼンチンとの国境を完全に閉鎖。

●23日, ブラジルとの国境を閉鎖する旨大統領令を発令。

●24日, 出入国に関する大統領令を発令。

●26日, 「コロナウイルス基金」を設置する旨発表。

2 本文

【内政】

1 ウルグアイ大統領就任式

1日, 大統領就任式が行われ, ラカジェ・ポウ新大統領, アルヒモン新副大統領が就任した。国会議事堂で開催された就任式では, 国歌斉唱及び就任にあたっての宣誓に続き, ラカジェ・ポウ新大統領の就任演説が行われた。同新大統領は経済政策として失業率の改善, 市場開放及び財政赤字の改善に触れた他, 社会保障, 治安, 教育, 内陸部への投資誘致, 環境対策に言及した。外交に関しては, メルコスールの強化と同時に各加盟国が他国との二国間プロセスを進められるよう同枠組みの柔軟性実現の必要性を強調した。

就任式後, 独立広場で大統領交代式が行われ, バスケス前大統領からラカジェ・ポウ新大統領へ大統領綬が渡された。その後, ラカジェ・ポウ新大統領より新政権における閣僚が紹介され, 各大臣による就任証明書への署名が行われた。

大統領交代式典の後, ラカジェ・ポウ大統領は同夫人及びタルビ外務大臣とともに, 旧大統領府において各国代表の挨拶を受けた。(日本からは河村建夫特派大使が当該大統領就任式に出席。)

2 地方選挙の延期を検討

16日, 選挙裁判所は各政党の指導者に対し, 新型コロナウイルスによる国家衛生緊急事態宣言の影響で, 5月10日に実施が予定されていた地方選挙について正常な選挙プロセスの展開が困難であるとの見解を示した。(選挙裁判所には選挙日程等を変更する権限がないため, 同日程の変更及び県知事及び議員の任期延長については国会での審議, 承認が必要であり, 後刻4月17日に, 9月27日に変更された。)

【外交】

1 他国代表との会談

2日、ラカジェ・ポウ大統領は旧大統領府で河村建夫特派大使(日・ウルグアイ友好親善議員連盟会長)、李幹傑中国生態環境部部長、ハーミド・バングラデシュ大統領とそれぞれ会談した。会談に同席したタルビ外務大臣は、各会談で二国間関係が再確認され、特にメルコスール及びウルグアイとの関係強化や貿易協定署名の可能性について意見交換が行われたと述べた。また、同外務大臣は同日エブラル墨外務大臣とも会談し、二国間関係の強化について議論した結果、両外務大臣は地域・多国間レベルでの様々な問題の解決に寄与することで一致した。

2 南米諸国連合からの脱退及び米州相互援助条約への復帰

10日、タルビ外務大臣は、ウルグアイは南米諸国連合(Unasur)から脱退し、2019年9月にバスケス前政権が脱退に向けた手続きを開始していた米州相互援助条約(TIAR)に復帰する旨を発表した。

3 テレスール及び南米銀行からの脱退

13日、外務省はウルグアイがテレスール(Telesur)テレビ局及び南米銀行(Banco del Sur)から正式に脱退する旨を発表した。

4 中国からの支援

19日、王剛駐ウルグアイ中国大使は、ラカジェ・ポウ大統領と会談し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため医療物資支援を申し出た。24日、王剛駐ウルグアイ中国大使から右支援のうちマスク5万枚がタルビ外務大臣及びアチェ外務次官に手交された。

5 米州機構(OAS)事務総長選挙

20日、米州機構(OAS)の事務総長選挙が実施され、アルマグロ事務総長がウルグアイ票を含む23票を獲得し再選した。唯一の対抗候補者であったエスピノサ・元エクアドル外務大臣の得票は10票だった。ドミニカ共和国が欠席した他、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いずれの国からも外務大臣は出席しなかった。

6 米国政府からの寄付

27日、ジョージ駐ウルグアイ米国大使はウルグアイ外務省及び国家緊急システム(SINAE)に対し、米国政府からの1回目の寄付をアチェ外務次官らに手交した。ウルグアイ政府から要請のあった超音波装置、生体情報モニター、ICUベッド等の医療機材の他、ベッド、マットレス、枕、椅子や机等が供与され、テントや暖房器具が貸与された。

【新型コロナウイルス】

1 国家衛生緊急事態宣言及び主な国内措置

(1)国家衛生緊急事態宣言

13日、ウルグアイ国内で新型コロナウイルスの感染者が4名確認されたことを受け、ラカジェ・ポウ大統領は国家衛生緊急事態を宣言。ウルグアイ政府として、感染危険国からの入国者に対する義務的隔離の実施、国境の一部閉鎖、クルーズ船の乗客及び乗組員の下船禁止、公共の場での催しの全面的な中止等の措置を講じる旨を発表。17日、ウルグアイ政府は13日に発表し

た国家衛生緊急事態を宣言する政令第93／020号に署名。

(2) 学校授業の停止

14日、16日から国内全土で14日間学校授業を停止する旨発表。19日、授業停止期間を1週間延長する旨発表(観光週間にかかるため、再開は4月13日以降)。

(3) 一時的失業保険の適用

18日、新型コロナウイルス感染拡大により最も影響を受けている部門に対し、一時的失業保険を適用可能にする旨発表。19日、適用対象部門を全部門に拡大する旨発表。

(4) 中小企業支援のための経済措置

19日、中小企業支援を目的とした新たな経済措置を発表。

(5) 貧困層に対する措置

20日、路上生活者のための避難所の設置や社会経済的弱者の支援のため10億ペソを社会開発省に割り当てる旨発表。

(6) 高齢者に対する自宅待機指示

24日、感染時のリスクが高い年齢層の感染を避けるため、政府は65歳以上の公務員に25日からの自宅待機を指示。65歳以上の民間労働者や経営者に対しても自宅待機を要請し、疾病補助金を適用可能にする旨発表。

(7) 「コロナウイルス基金」の設置

ア 26日、ラカジェ・ポウ大統領は、新型コロナウイルス感染症拡大によって生じる出費を補う目的で「コロナウイルス基金」を設置する旨発表。

イ 27日、アルベレチェ経済財務大臣は、同基金の財源は主に共和国銀行(BROU)及び国家開発公社(CND)の利益、公務員に対し受給額に応じて課税される一時的な税金、本基金への国内外からの資金贈与、国際機関及び多国籍機関の融資による資金等で賄われる旨説明。

2 国境措置

(1) 感染危険国の指定

ア 13日、政府は感染危険国(スペイン、イタリア、フランス、ドイツ、中国、韓国、日本、シンガポール、イラン)及びその兆候がある国から来る乗客に対し、14日間の義務的隔離を伴う国境の部分的閉鎖を決定。

イ 21日、感染危険地域のリストにブラジル、アルゼンチン、チリを追加。

(2) 欧州便の受け入れ停止措置

15日、政府は20日0時以降、全ての欧州便を停止する旨発表。以降、ウルグアイ人及びウルグアイに居住する外国人のみ欧州からの便で入国可能とした。

(3) アルゼンチンとの国境閉鎖

17日、ウルグアイ人及び居住者の帰国、商品の輸送、医療援助の場合を除き、アルゼンチンとの国境を完全に閉鎖した。

(4) ブラジルとの国境閉鎖

23日、ウルグアイ政府はブラジルとの国境を閉鎖する旨大統領令を発出し、ウルグアイ人及びウルグアイに居住する外国人、両国の国境地帯の居住者等、一部の例外を除きウルグアイへの入国を禁止した。

(5) 出入国制限措置

24日、ウルグアイ政府は出入国に関する大統領令を発出し、ウルグアイ人及びウルグアイに居住する外国人に対し4月13日までの期間、観光目的での出国を禁止すると同時に、一部の例

外を除きウルグアイ人及びウルグアイに居住する外国人以外のウルグアイへの入国を禁止した。

【要人往来】

○来訪

- 2月28日～ フェリペ6世スペイン国王, ゴンサレス西外務大臣
- 1～2日 河村建夫特派大使(日・ウルグアイ友好親善議員連盟会長)
- 1～2日 アブド・ベニテス・パラグアイ大統領, リバス・パラグアイ外務大臣
- 1日 ボルソナーロ伯大統領, アラウージョ伯外務大臣, ピニエラ・チリ大統領, ドウケ・コロンビア大統領, ブルム・コロンビア外務大臣, ハーミド・バングラデシュ大統領, ソネンオルスネル・エクアドル副大統領, キャンベル・コスタリカ副大統領, アルマグロOAS事務総長, ソラー亜外務大臣, アンドリュー・ウィーラー米環境保護局長官, 李干傑・中国生態環境部部長, 他多数(1日に開催された大統領就任式出席のため)。

(了)